

H A K U B I 15TH ANNIVERSARY



京 都 大 学 白 眉 セ ン タ ー 創 立 15 周 年 記 念 式 典 ・ シ ン ポ ジ ウ ム

2025.1.26 | SUN |

13:00 - 19:30 (受付 12:30~)

会 場 ホテルグランヴィア京都 5階 竹取の間・古今の間
京都府京都市下京区烏丸通塩小路下ル JR 京都駅中央口 TEL 075-344-8888

第一部 記念式典

13:00 開 会

挨拶

湊 長博

MINATO Nagahiro

京都大学 第27代総長

北川 進

KITAGAWA Susumu

京都大学 理事(研究推進担当)・副学長

来賓祝辞

井上 諭一

INOUE Yuichi

文部科学省科学技術・学術政策局長

松本 紘

MATSUMOTO Hiroshi

公益財団法人国際高等研究所長
国立研究開発法人理化学研究所 名誉理事長
京都大学 第25代総長

第一部 シンポジウム

14:00 講演

「白眉プロジェクトから化学反応設計の革新へ」



前田 理

MAEDA Satoshi

北海道大学化学反応創成研究拠点長・
教授 / 同 大学院理学研究院 教授
(白眉第1期)

2007年東北大学大学院理学研究科博士課程修了(理学)。白眉在籍時の研究課題名は「反応経路自動探索法による生化学反応機構の系統的量子化学的解明」。白眉離職後は、北海道大学大学院理学研究院助教・同准教授を経て同教授。2018年より北海道大学化学反応創成研究拠点拠点長を兼務。研究のモチベーションは、難問へのチャレンジと解決の達成感。伯楽の先生方、白眉研究者の方々にお会いできるのを楽しみにしています。

「ダイバーシティ経営と企業価値」



COLPAN, Asli M.

京都大学経営管理大学院 教授
同 大学院経済学研究科 教授
同 理事補
(白眉第2期)

英国リーズ大学経営工学修士、京都工芸繊維大学工学博士。白眉在籍時の研究課題名は「国際比較の観点から見たビジネス・グループ:理論的分析と実証的考察」。白眉後は、京都大学経済研究所と経営管理大学院准教授を経て、2018年より現職。ハーバード・ビジネススクールチャンドラー客員教授、MITスローンビジネス・スクール客員教授、コロンビア大学日本研究センター併任准教授を歴任。楽しさとパッションを大切にしています。

「僕には鳥の言葉がわかる～動物言語学の幕開け～」



鈴木 俊貴

SUZUKI Toshitaka

東京大学先端科学技術研究センター
准教授
(白眉第9期)

2012年立教大学大学院理学研究科博士後期課程修了(理学)。白眉在籍時の研究課題名は「鳥類をモデルに解き明かす言語機能の適応進化」。白眉離職後は、東京大学卓越研究員・准教授として、同学先端科学技術研究センターに着任。白眉プロジェクト15周年、誠におめでとうございます。僕は現在、「動物言語学」という新たな学問領域の確立を目指して励んでおりますが、これもひとえに白眉で過ごした4年間のおかげです。心より感謝しています。

座 長

時任 宣博

TOKITOH Norihiro

京都大学 副学長(評価・研究拠点担当)
同 学際融合教育研究推進センター長

東京大学大学院理学系研究科博士課程修了。専門は有機元素化学。東京大学理学系研究科助教授、九州大学教授、京都大学化学研究所教授・同所長を経て2022年4月から現職。2020年10月から2024年3月まで京都大学理事(研究・評価担当)。理事在任中に運営委員および伯楽委員として白眉プロジェクトに参画。自然科学系分野等の面接を担当したほか、本学への白眉研究者の定着や若手研究者・女性研究者の更なる獲得に取り組んだ。

15:30 パネルディスカッション 「白眉プロジェクトの過去・現在・未来」

I パネリスト

小石 かつら

KOISHI Katsura

関西学院大学文学部 教授
(白眉第3期)



2009年、大阪大学大学院文学研究科文化表現論専攻博士後期課程修了(文学)。白眉在籍時の研究課題名は『近代演劇の成立と変遷の総合的実証研究』。白眉後は、関西学院大学文学部准教授を経て現職。白眉での理系の方々は衝撃でした。あいまいな表現をしない、例外を切り捨てる、研究のスピードが速い、等々。その経験を生かし、文献だけではない証拠を積み上げる研究をしたいと思っています。

榎戸 輝揚

ENOTO Teruaki

京都大学大学院理学研究科
准教授(白眉第6期)



2010年東京大学大学院理学系研究科博士課程修了(理学/物理学)。白眉在籍時の研究課題名は「宇宙X線の超精密観測で挑む中性子星の極限物理」。白眉後は、理化学研究所 開拓研究本部で理研白眉研究チームリーダーを経て現職。白眉で立ち上げた、雷雲からのガンマ線を観測するシチズンサイエンス「雷雲プロジェクト」の技術を活用して、月の水資源探査とシスルナ科学も狙っています。

天野 恭子

AMANO Kyoko

京都大学大学院文学研究科
准教授(白眉第8期)



2001年フライブルク大学印欧語比較言語学科 Dr. phil. 白眉在籍時の研究課題名は「古代インド祭式文献の言語および社会的・文化的成立背景の研究」。白眉離職後は、京都大学文学研究科 人文学連携研究者、2024年4月より現職。白眉で様々な分野の研究者と触れ合ったことが今の土台となっています。それを基に、今と未来の世界に人文学は何をもたらし得るか、現場から発信したいと考えています。

田原 弘量

TAHARA Hirokazu

横浜国立大学大学院工学研究
院 准教授(白眉第12期)



2013年東京工業大学大学院理工学研究科物性物理学専攻博士課程修了(博士(理学))。白眉在籍時の研究課題名は「ナノ構造半導体と量子協力効果を利用した散逸エネルギー再利用システムの開発」。白眉後、2024年4月より現職。白眉在籍時の研究では、ナノ物質の光電エネルギー変換について有益な実験結果を多数得ることができました。15周年を機に、多様な学術分野の研究者との再会が楽しみです。

FEDOROVA Anastasia

京都大学白眉センター
特定准教授(白眉第14期)



2014年京都大学大学院人間・環境学研究科博士課程、2018年全ロシア国立映画大学(VGIK)博士課程終了。白眉プロジェクト研究課題名は「1950年代の日本映画と民主主義」。白眉センターが創立15周年を迎えるこの特別な時期に、皆様と出会う機会に恵まれ、新たな学びのチャンスを与えられたことに深く感謝しております。沢山の先輩方から研究上のアドバイスを頂ければ幸いです。

ファシリテーター

藤井 俊博

FUJII Toshihiro

大阪公立大学大学院理学研究科
准教授(白眉第9期)



2012年大阪市立大学大学院理学研究科後期博士課程修了、博士(理学)。白眉在籍時の研究課題名は「極高エネルギー宇宙線天文学によって近傍宇宙の極大エネルギー現象を解明する：新型大気蛍光望遠鏡アレイ」。白眉離職後、2022年4月より現職。白眉プロジェクトの創業と守成にかかわった錚々たる方々と出会うこと、魅力あふれる白眉研究者たちとの再会、とても楽しみにしています。

II パネリスト

井上 諭一

INOUE Yuichi

文部科学省
科学技術・学術政策局長



九州大学工学部卒業。1991年同大学院工学研究科を中退し科学技術庁入庁。これまで、日本の地震調査研究体制の整備、スーパーコンピュータ「京」の開発、海洋資源調査システムの開発、給付型奨学金制度の創設、AI戦略の策定などに従事。2001年から2004年の間、在ドイツ日本大使館で科学アタッシュ、2022年G7科学技術大臣会合では我が国シエルパを務めた。2024年7月より現職。

長谷川 真理子

HASEGAWA Mariko

独立行政法人日本芸術文化
振興会 理事長



東京大学大学院理学系研究科博士課程修了。専門は行動生態学、自然人類学。イェール大学(米国)人類学部客員准教授、専修大学法学部教授、早稲田大学政治経済学部教授、総合研究大学院大学学長等を経て、2023年4月から現職。白眉プロジェクトには、第8期から第14期まで7年3カ月にわたり伯楽委員として参画し、生命科学や人類学の観点から面接審査に携わった。

田中 耕司

TANAKA Koji

京都大学 名誉教授
同 元・白眉センター長



専門はアジアの農耕文化。京都大学東南アジア研究所(現・東南アジア地域研究所)所長等を歴任。2009年9月から2018年3月まで、白眉プロジェクトのプログラムマネージャー、白眉センター長、白眉センター顧問を歴任。第1期から第12期までの12年以上伯楽委員を務め、草創期から白眉プロジェクトの発展に尽力してきた。今もなお、白眉の各種イベントに参加し、後進を温かく見守っている。

湊 長博

MINATO Nagahiro

京都大学 第27代総長



京都大学医学博士。専門は免疫学。米国アルバート・アインシュタイン医科大学研究員、自治医科大学助教授などを経て、1992年に京都大学医学部教授に就任。2010年京都大学大学院医学研究科長・医学部長、2014年京都大学理事・副学長、2017年10月よりプロボストを務めた後、2020年10月から現職。総長就任後も教員の多様性の確保を目指し、白眉プロジェクトを積極的に推進している。

高倉 喜信

TAKAKURA Yoshinobu

京都大学 副学長(学生支援担当)
同 白眉センター長



京都大学薬学博士。専門は薬物動態学。カンサス大学(米国)博士研究員、京都大学大学院薬学研究科教授・同研究科長を経て、2023年4月より現職。2020年から京都大学副学長、2022年から京都大学学生総合支援機構長も務める。薬学研究科長在任時に伯楽委員として面接を担当。白眉センター長就任後は白眉研究者との交流を重視、さらなる発展に向け舵取りを担っている。

ファシリテーター

小川 正

OGAWA Tadashi

京都大学高等研究院 特定教授



大阪大学工学博士。専門は認知神経科学、実験心理学。生理学研究所助教、京都大学医学研究科准教授、京都大学次世代研究創成ユニット特任教授/プログラムマネージャーを経て、2018年12月から現職。2018年4月から12月まで白眉センタープログラムマネージャーを兼任、伯楽委員も務めた。京都大学の次世代研究者育成支援事業に携わり、若手研究者の育成支援について豊富な見識を持つ。

第 三 部 祝 賀 会

17:00 開会の挨拶・乾杯

19:30 閉会の挨拶

高倉 喜信

TAKAKURA Yoshinobu

京都大学 副学長(学生支援担当)

同 白眉センター長

次世代白眉等若手研究者はぐくみ基金

次世代のトップ研究者を応援しませんか？

多様な分野の若手研究者にご支援を！

京都大学では次世代を担う若手研究者向けに、白眉プロジェクト(自由かつ独創的な発想で課題に挑戦する研究者を、学術分野を問わず世界中から募り5年間支援する、京都大学独自のプログラム)、L-INSIGHT(世界トップクラスの研究者を育成するためのプログラムの開発・実施を行う事業)、学内ファンドによる支援等を実施しています。

国立大学を取り巻く財政的な状況は厳しさを増しており、新たに優秀な若手研究者を発掘・雇用・育成していくためには、安定した財政基盤を独自につくっていく必要があります。京都大学の次世代の学術を担う若手研究者を総合的に支援していくため、この度「次世代白眉等若手研究者はぐくみ基金」を設立しました。

大学が主体となって本基金を活用し、白眉センターや総合研究推進本部が実施する事業等を通して若手研究者への各種の財政的支援を提供する計画です。あらゆる分野での研究環境の改善や、異分野交流の活性化を促すとともに、将来的に世界トップクラスの研究者となり得る若手研究者を育成していきます。

基金の用途

若手研究者の活動支援

- 若手研究者の研究活動に要する費用
- 若手研究者の研究活動の成果を発表するために必要なものを負担する費用
- 若手研究者と異分野の研究者など他の有識者との交流を促進する費用

このプロジェクトへ寄付する >



京 都 大 学 白 眉 セ ン タ ー

The Hakubi Center for Advanced Research, Kyoto University

〒606-8501 京都市左京区吉田本町 学術研究支援棟 1F 事務室 TEL:075-753-5315

E-mail: hakubi@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

<https://www.hakubi.kyoto-u.ac.jp/>

